

宝ホールディングス株式会社 会社説明会

2022年8月
取締役 森 圭助

2

本日の内容

1. 宝グループの概要
2. 海外事業について
3. 国内事業について
4. バイオ事業について
5. サステナビリティについて
6. 株主還元について

本日の内容

1. 宝グループの概要
2. 海外事業について
3. 国内事業について
4. バイオ事業について
5. サステナビリティについて
6. 株主還元について

宝グループの概要

- 社名： 宝ホールディングス株式会社
- 創業： 1842（天保13）年
- 設立： 1925（大正14）年9月6日
- 上場市場： 東証プライム市場（証券コード：2531）
- 本店所在地：京都市下京区四条通烏丸東入
- 取締役社長：木村 睦
- 資本金： 13,226百万円
- 従業員： 4,934名（グループ連結／2022年3月末現在）
- 連結子会社：59社（2022年3月末現在）
- 2022年3月期実績 連結売上高 3,009億円
連結営業利益 433億円

宝ホールディングス株式会社

宝酒造

国内事業



宝酒造インターナショナルグループ

海外事業



タカラバイオグループ

バイオ事業



その他グループ会社

2002年 持株会社化 寶酒造→宝ホールディングスへ商号変更
宝酒造、タカラバイオを設立

2004年 タカラバイオ 東証マザーズへ上場 → 2016年 東証一部へ市場変更

2017年 宝酒造インターナショナルを設立

2022年3月期 宝ホールディングス（連結）業績

海外事業、バイオ事業が牽引し、売上高と全ての利益項目で過去最高を記録

◆2022年3月期 宝ホールディングス（連結）実績（単位：百万円）

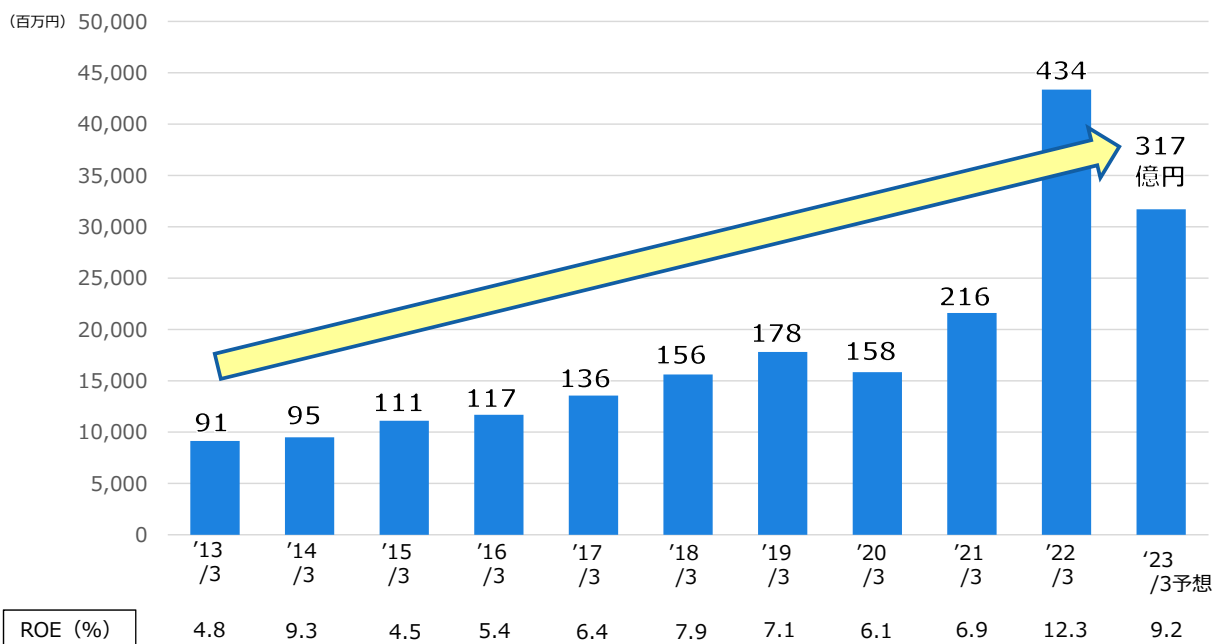
	実績	前期差	前期比
売上高	300,918	22,474	+8.1%
営業利益	43,354	21,759	+100.8%
経常利益	43,230	21,759	+97.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,769	10,194	+96.4%

◆セグメント別営業利益実績（単位：百万円）

	実績	前期差	前期比
宝ホールディングス（連結）計	43,354	21,759	+100.8%
宝酒造	4,135	▲743	▲15.2%
宝酒造インターナショナルグループ	8,472	7,429	+712.1%
タカラバイオグループ	28,902	14,949	+107.1%
その他	2,222	419	+23.2%
調整	▲379	▲295	—

2022年3月期は新型コロナウイルス関連の需要が急激に拡大したため、2023年3月期は減益となるが、国内酒類は微増、海外事業は拡大する見通しで、長期的には着実に成長しておりROEは9.2%となる予想。

◆営業利益推移

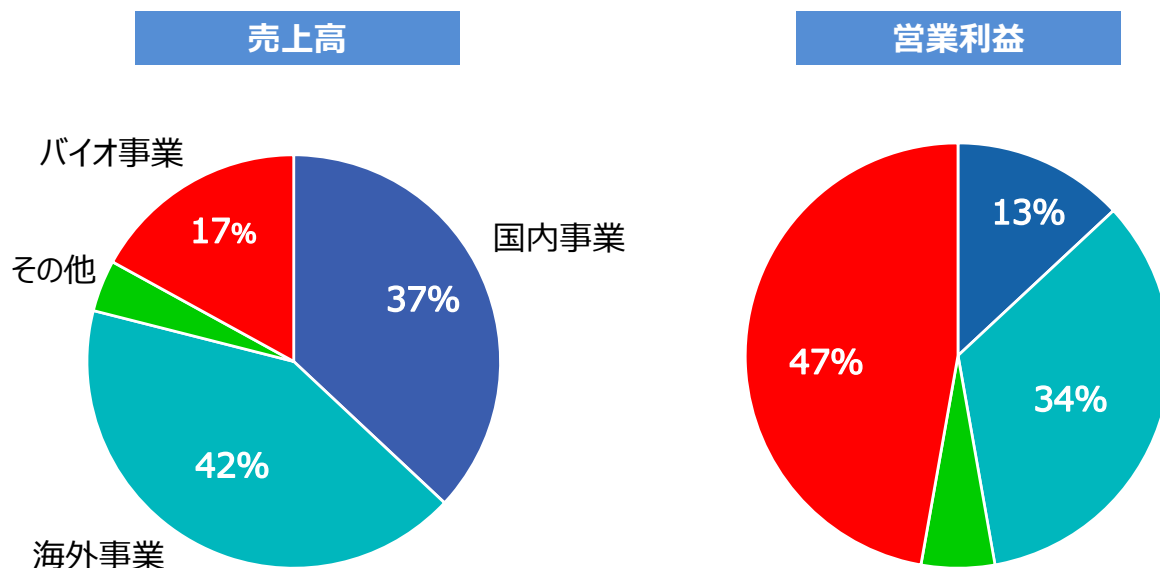


※2023年3月期予想は8月4日予想値

セグメント別売上高・営業利益構成比

バイオ事業、海外事業の成長により、バランスのとれた事業構造となっている

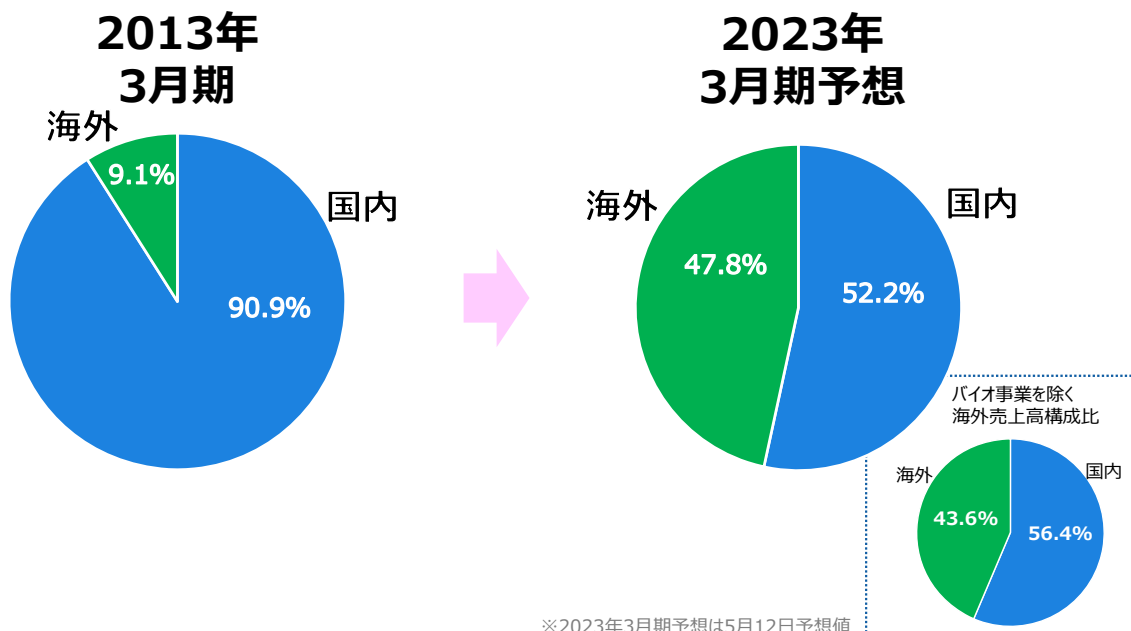
◆2023年3月期予想のセグメント別売上高・営業利益構成比



※2023年3月期予想は8月4日予想値。カラバイオグループは5月12日の業績予想を据え置いており、5月12日の予想値で計算

宝グループの海外売上高比率は、2013年3月期の9.1%から大きく拡大し、2023年3月期は47.8%へ。

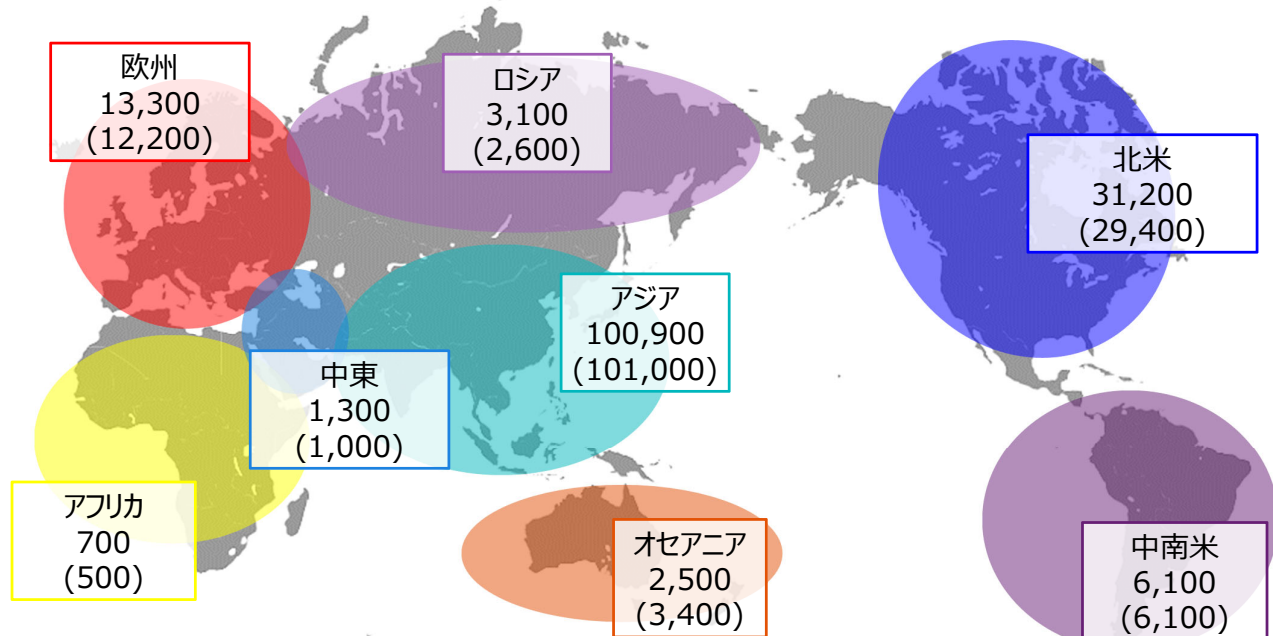
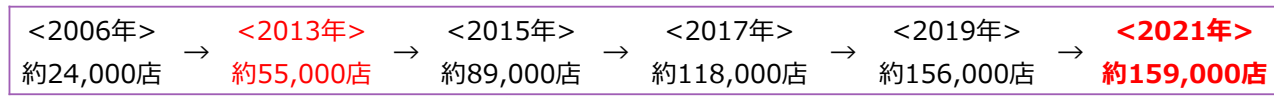
◆宝グループの海外売上高比率



本日の内容

1. 宝グループの概要
- 2. 海外事業について**
3. 国内事業について
4. バイオ事業について
5. サステナビリティについて
6. 株主還元について

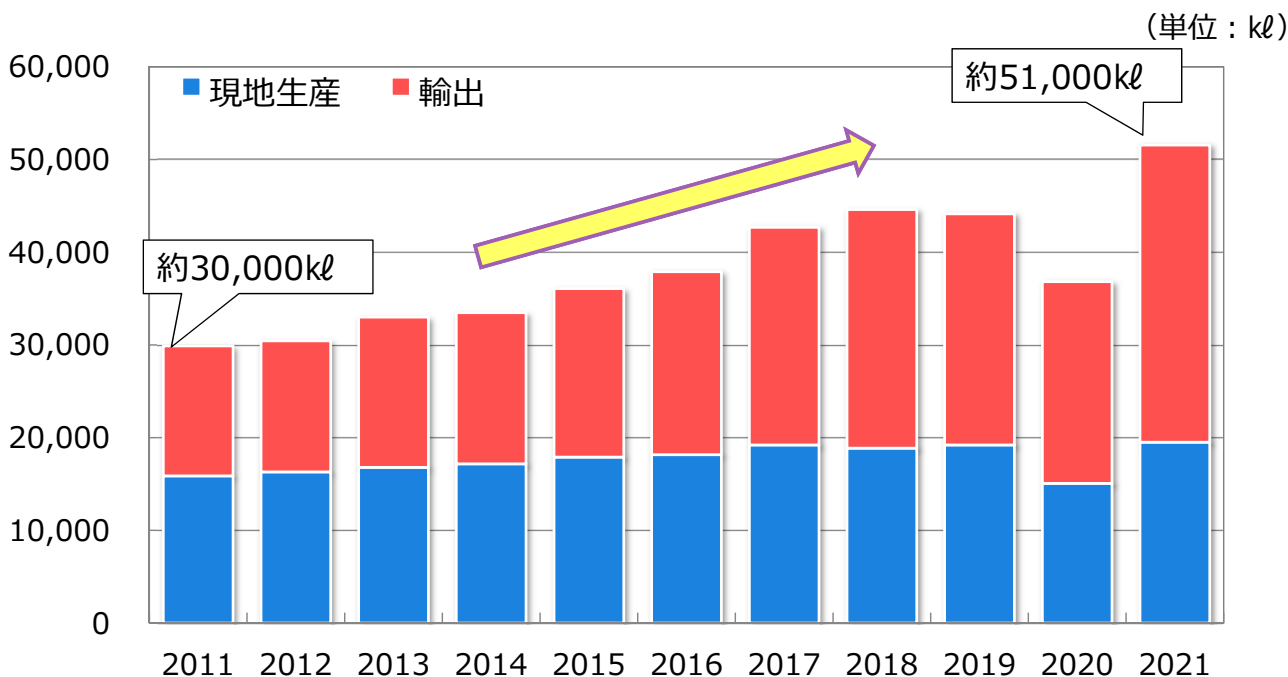
海外日本食レストランの店舗数は2013年からの8年間で約3倍に拡大。直近のコロナ禍においても増加している



<データ出所> 農林水産省

* 図中上段は2021年の店舗数、下段カッコ内は2019年の店舗数

2020年はコロナ禍の影響で減少も、海外清酒市場は2011年からの10年で約1.7倍に拡大。



<データ出所> 輸出：財務省貿易統計
現地生産：醸造産業新聞社（清酒大手4社の現地生産量合計）

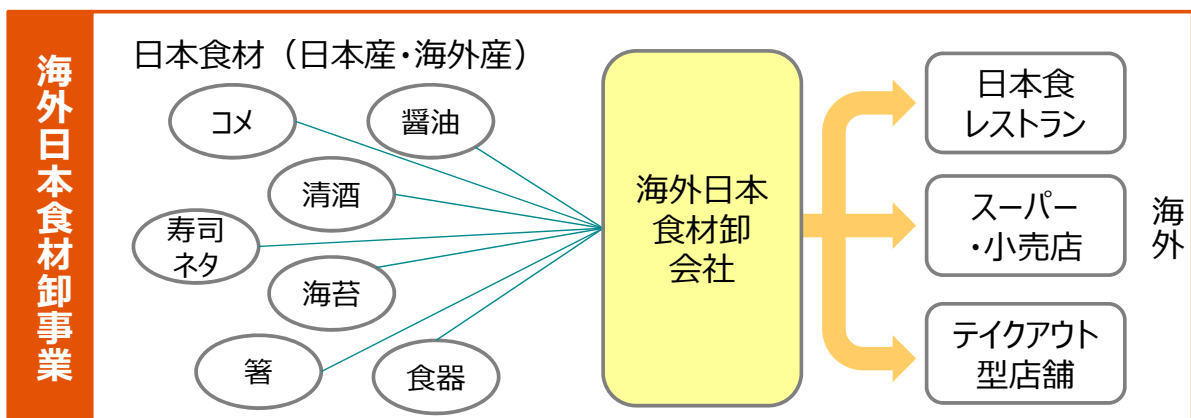
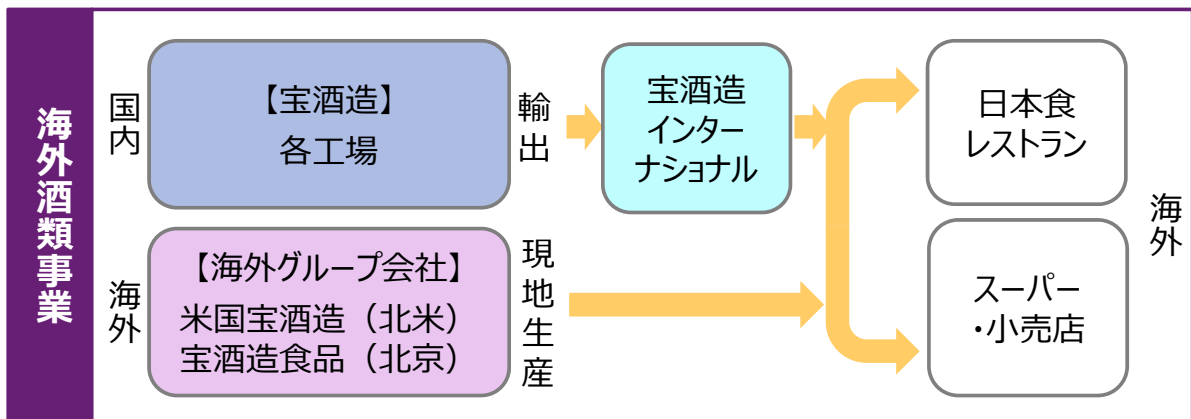
海外酒類事業

日本からの輸出および海外での現地生産により、清酒「松竹梅」を中心とした和酒やウイスキーなどを世界各地域で提供

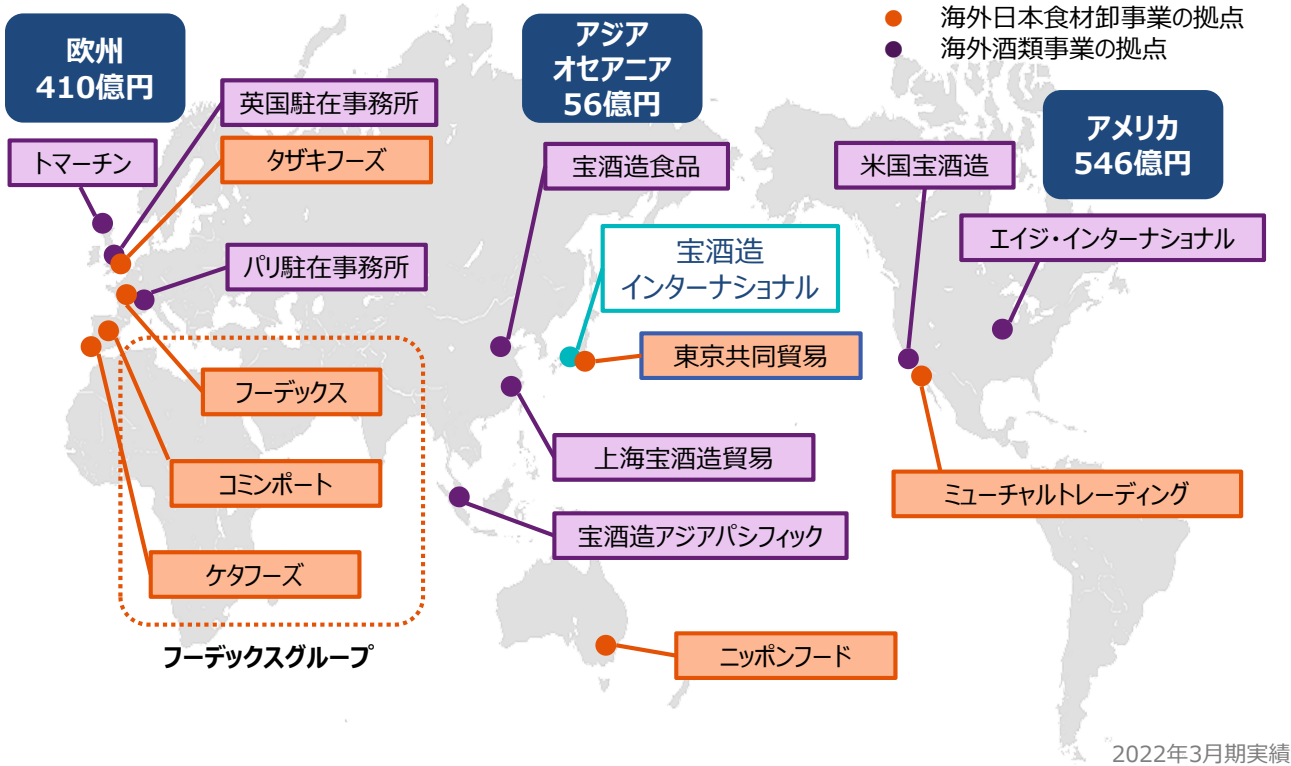


海外日本食材卸事業

コメや寿司ネタなどの日本食材や清酒、調味料を日本食レストラン、小売店などに供給

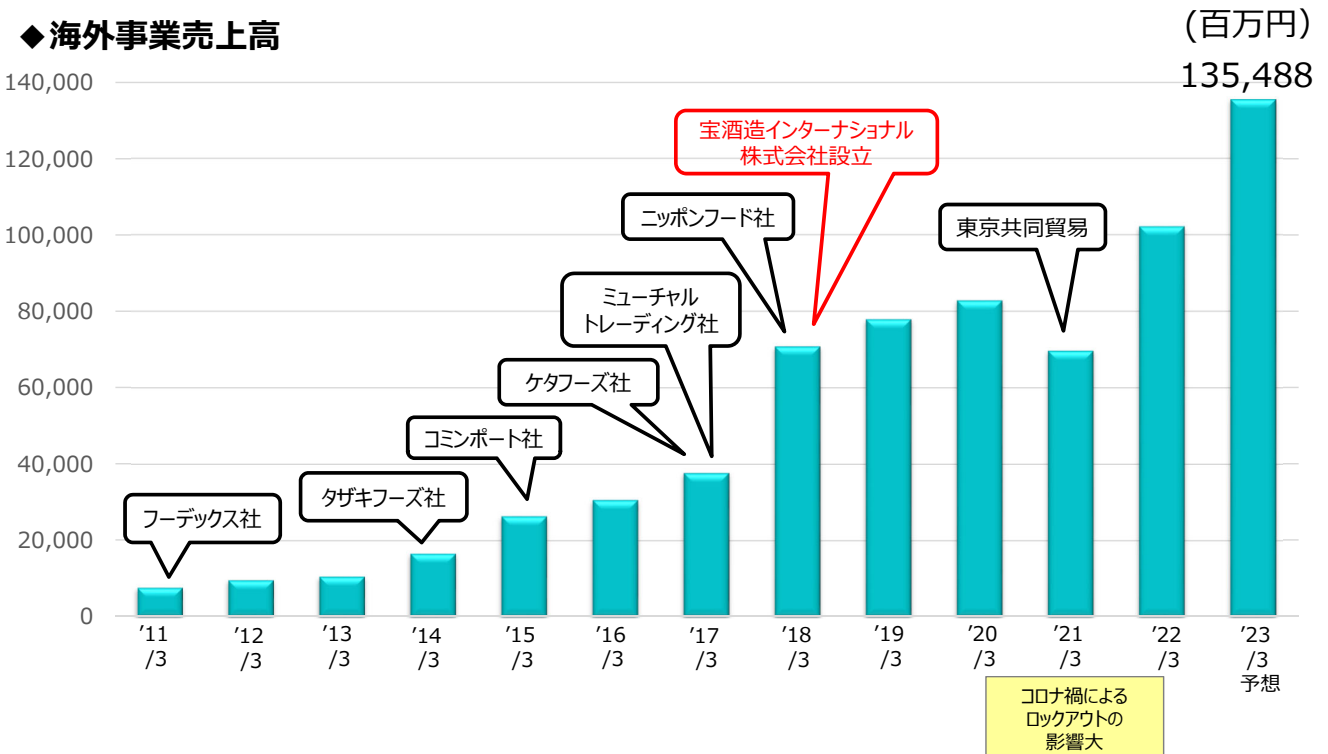


海外酒類事業・海外日本食材卸事業ともにグローバルに展開



海外事業の売上高推移

海外日本食材卸事業に参入した2011年3月期から海外事業は大きく成長



世界の和酒・日本食におけるリーディングカンパニーを目指し 事業の拡大を加速

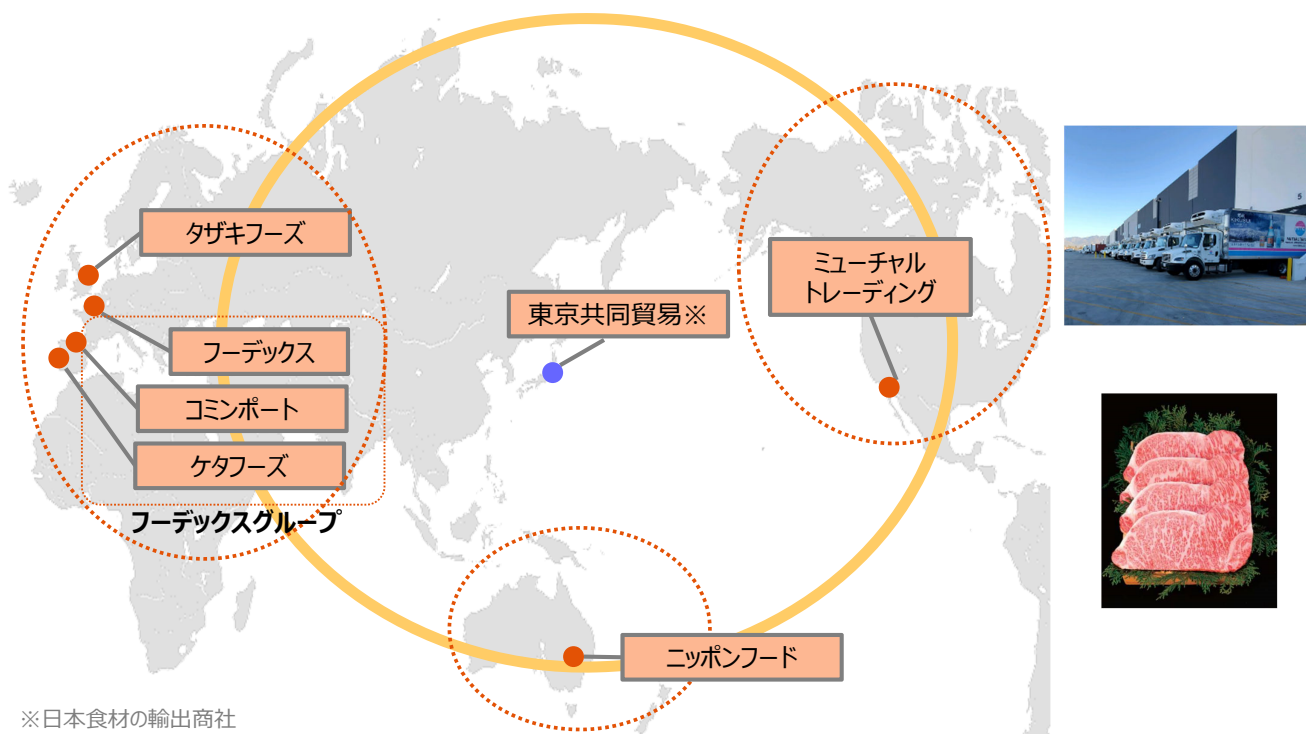
2023年3月期予想 売上高1,354億円 営業利益108億円

- 海外日本食材卸ネットワークの拡充や新商品開発で成長を加速
- 飲食店市場での“強み”を活かすとともに、小売・ネット等、販売チャネルの多角化を強化・継続
- コンテナ不足による物流不安や、人件費や物流費の高騰といった喫緊の課題を克服し、利益を創出する体質へ進化
- 安全安心な品質管理の徹底
- 日本の食文化の情報発信と啓発活動

※2023年3月期予想は8月4日予想値

海外日本食材卸事業のネットワーク

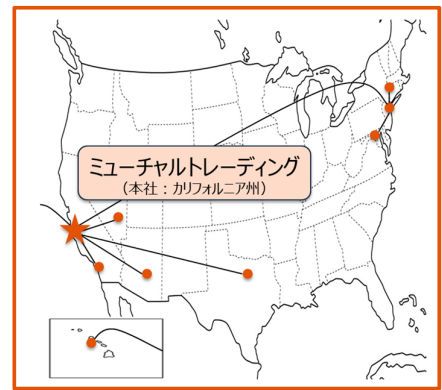
世界に広がるネットワークを強みに、人気商材などの販売情報の共有や、商品調達力の向上など、シナジーを創出



※日本食材の輸出商社

概要

- 1926年設立。米国における日本食材卸事業のパイオニア。
- 全米8州に9拠点を展開するほか、寿司職人を養成する調理師学校を経営するなど、日本食文化の浸透にも注力。
- 取り扱いアイテムは8,000種以上。日本食材や酒類のほか、調理器具や食器類も多数。



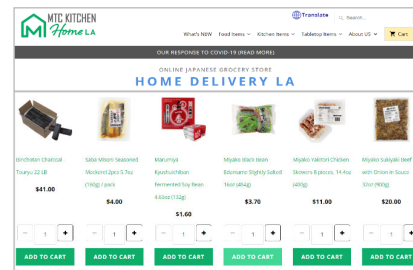
主な取り組み

- ヴィーガン刺身やプラントベース商材など、新たなニーズに対応した商品の提供。
- 小売りルートや消費者向け直販サイトの拡充など、販売チャネルの拡大。

ヴィーガン刺身



消費者向け直販サイト「MTCキッチン」



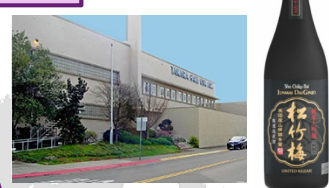
海外酒類事業のグローバル展開

海外の現地生産と日本からの輸出で世界中に高品質な商品を提供

トマーチン



米国宝酒造



“Sho Chiku Bai Junmai Daiginjo”
(松竹梅 純米大吟醸)
2020年全米日本酒歓評会 金賞受賞

宝酒造食品



宝酒造
インターナショナル

エイジ・インターナショナル



“ブランドン・ストレート・フロム・ザ・バレル”
サンフランシスコ・ワールド・スピリッツ・コンペティション
(SFWSC) 2022 金賞受賞



“L'ATELIER DU SAKE”
フェミニリーズ
世界ワインコンクール2021
(開催地 パリ) 金賞受賞



概要

- 1983年設立。清酒「松竹梅」を中心とした酒類と、みりん等の調味料を製造・販売。
- 商品は米国内のみならず、欧州、アジアなど世界各地に販売。



主な取り組み

- 清酒「松竹梅」や「松竹梅にごり酒」をはじめ、現地のニーズに対応したFlavored Sake（「HANA」、「YUKI」）や梅酒など、豊富な商品ラインアップを展開。
- 新規販売先の拡大に向け、米系の量販店やレストランチェーンへの取り組みを強化。
- オンラインで参加できる「バーチャルテイasting」を開催し、和酒文化の普及に注力

米国产松竹梅 米国产にごり酒



HANA



YUKI



バーチャルテイasting

米国宝酒造が製造する、味わいが異なる5アイテムを\$50でセット販売し、購入者はオンラインでテイasting会へ参加できる。参加者の9割は初めて松竹梅の説明を受ける新規ユーザー。

本日の内容

1. 宝グループの概要
2. 海外事業について
- 3. 国内事業について**
4. バイオ事業について
5. サステナビリティについて
6. 株主還元について

◆ 宝酒造の主な商品



焼酎



清酒

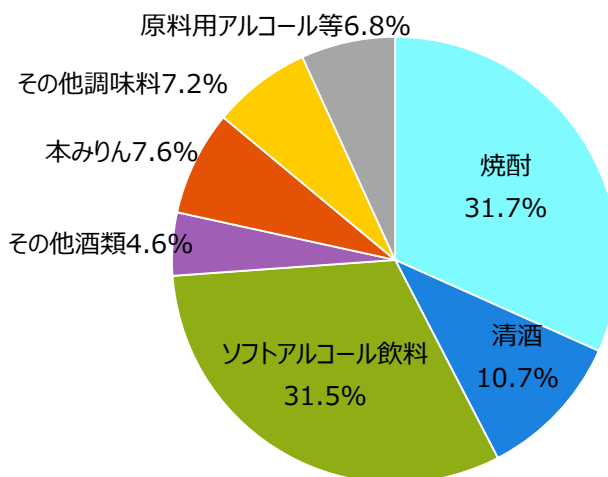


ソフトアルコール飲料



調味料

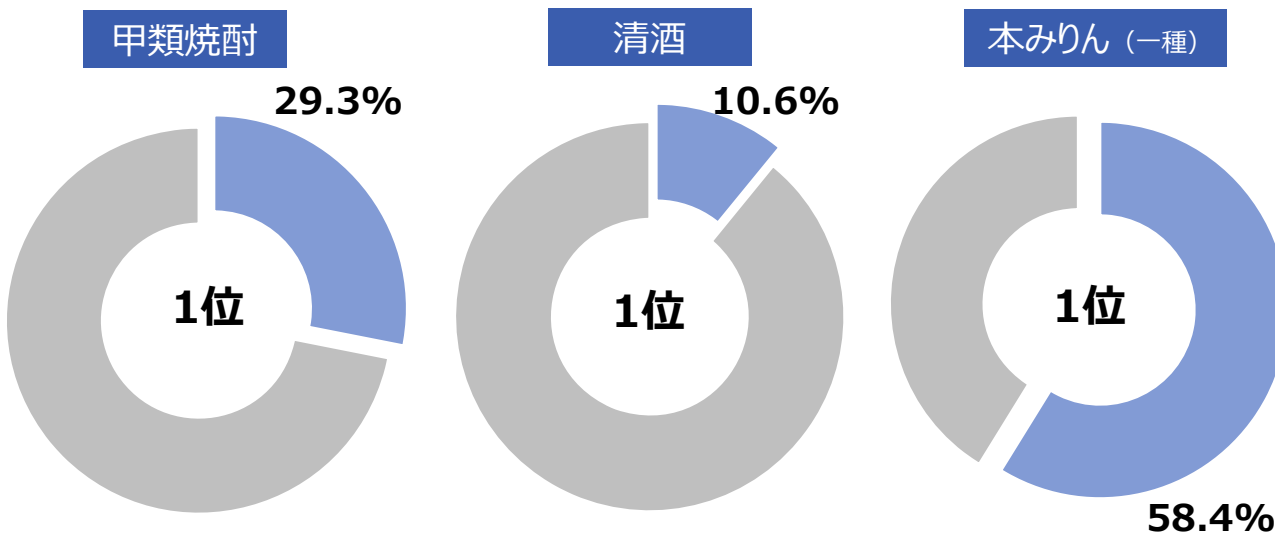
◆ カテゴリー別売上構成比 (2022年3月期)



「和酒」の各カテゴリーで高いマーケットシェア

甲類焼酎、清酒、本みりん等「和酒」においてトップシェア

(2021年)



<データ出所> 焼酎甲類・清酒: 日刊経済通信社公表値より当社推計、本みりん: 当社推計

高利益商品の開発と利益マネジメントにより、和酒No.1企業としての地位を盤石化する

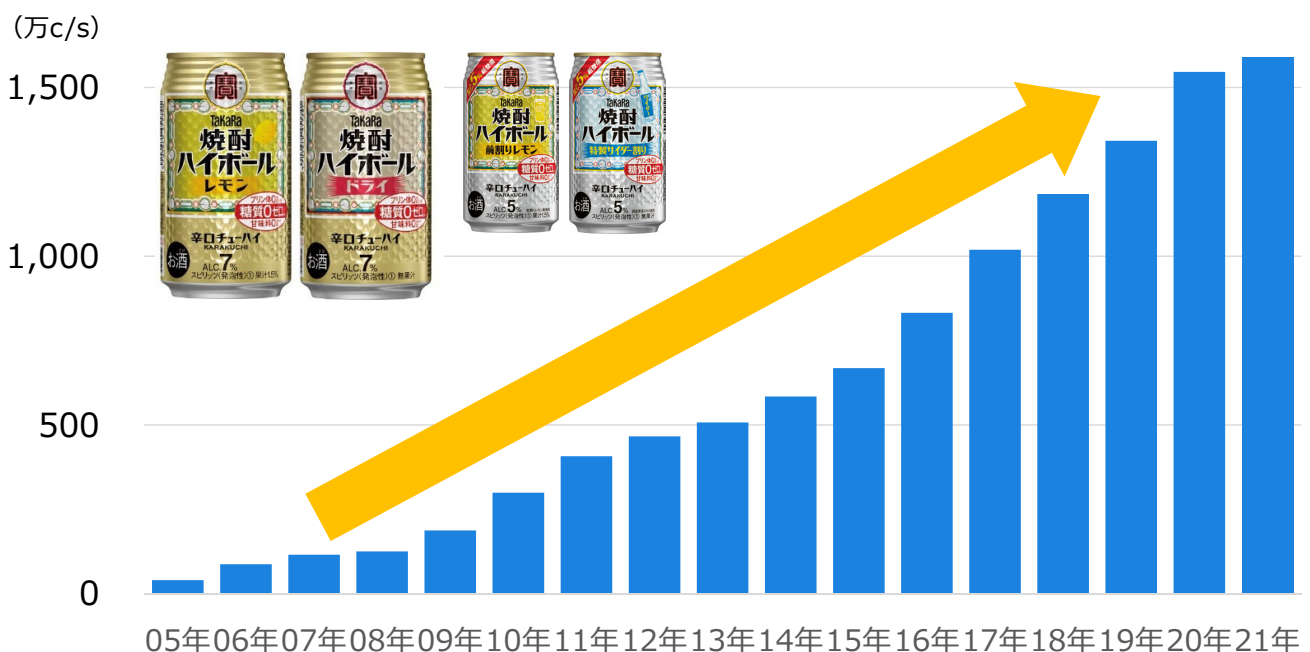
2023年3月期予想 売上高1,197億円 営業利益42億円

- 焼酎ハイボールの拡大
- 消費者に支持される差異化ポイントを付与した新商品の開発
- 高利益商品の育成によるプロダクトミックスの改善、価格改定等の取り組みによる利益率の向上
- 安全・安心に向けた取り組みの強化
- 将来の事業の柱として「輸出」の拡大

※2023年3月期予想は8月4日予想値

タカラ「焼酎ハイボール」実績推移

辛口の味わいや「糖質オフ・ゼロ」が支持され、タカラ「焼酎ハイボール」は17年連続で伸長。KSP-POS※では直近14か月連続（21年6月～22年7月）でレモン500mlが売上No.1を達成。
（スピリッツカテゴリー・全国）



※KSP-SP社が提供する国内最大級の食品POSデータベース

出所:当社販売実績期間:4-3月（350ml×24本換算）

2011年の発売により、スパークリング清酒という新たな市場を創造。
浅田真央さんをアンバサダーに起用し、TVCM、YouTubeチャンネルを通じ、情報発信



高付加価値商品の育成

多様な消費者ニーズに合致した高付加価値な商品を発売

圧倒的な香り成分量で、
今までにないフルーティー
感をもつ日本酒

「炭酸割り」「ロック」と
飲み方で香りが変わる
“異才な”全量芋焼酎

エシカル※で甘くない
Alc.5%チューハイ



松竹梅「昂」〈生貯蔵酒〉



全量芋焼酎「ISAINA」



カラムチーハイ「すみか」
〈#国産ゆず〉

※エシカル：地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した考え方

黒壁蔵（宮崎県高鍋町）に
85種類、約20,000樽の樽貯蔵熟成酒を保有



独自の「焙炒（ばいしょう）処理」による芋麹を全量使用し、
芋本来の華やかな香りと上品ですっきりとした味わいを実現



「現代の技術」と「伝統の技」が融合した白壁蔵
（神戸市東灘区）では吟醸酒等、高品質な清酒を製造



広口と細口が簡単に切り替えられる2段式キャップ等が
評価され、「2021年度グッドデザイン賞」を受賞



宝酒造×宝酒造インターナショナルグループの協業

和酒・日本食文化の広がりの中、宝酒造の商品開発力と宝酒造インターナショナルグループの展開力で世界的なブランドを育成

宝酒造株式会社

宝酒造インターナショナル株式会社

商品開発力
技術力 育成力



展開力
提案力 物流力



宝酒造と宝酒造インターナショナルグループのシナジー効果で輸出に注力。
世界市場に和酒を提案

● 宝酒造と宝酒造インターナショナルグループの協業

◇スパークリング清酒「澪」を39カ国で販売 (日本除く)



前年比193%と
好調な輸出実績
(2021年FY)



● “日本産”輸出商品の開発



アトリエ・ドウ・サケ



フーデックス社との
共同開発商品

フェミニリーズ世界ワインコンクール2021
(開催地 パリ) 金賞受賞

● 国内外への情報発信強化



ダブルゴールド

ゴールド

世界的なコンペティションSFWS
(サンフランシスコ・ワールド・スピリッツ・コンペティション)
で受賞した本格焼酎

4つのワーキングチームを立ち上げ、新商品案や育成策を考案していく。
世界の消費者の嗜好を調査のうえ、現地ニーズに基づいた柔軟な商品開発で、新たなユーザーの獲得を目指す

欧州チーム

宝酒造インターナショナル・宝酒造
トマーチン・
タゲキフーズ・フーデックス

中国チーム

宝酒造インターナショナル・宝酒造
宝酒造食品・上海宝

北米チーム

宝酒造インターナショナル・宝酒造
米国宝酒造・
ミューチャルトレーディング



アジア・オセアニアチーム

宝酒造インターナショナル・宝酒造
宝酒造アジアパシフィック

本日の内容

1. 宝グループの概要
2. 海外事業について
3. 国内事業について
4. **バイオ事業について**
5. サステナビリティについて
6. 株主還元について

技術基盤かつ収益基盤であるバイオ産業支援事業は、世界中のバイオ研究者を製品・サービスの顧客としている

試薬	機器	受託 (CDMO)
 <p>キット製品</p>	 <p>PCR装置</p>  <p>シングルセル解析システム</p>	 <p>遺伝子解析受託サービス</p>  <p>細胞加工受託サービス</p>
<p>遺伝子を増幅する酵素や試薬セット (キット) など (数千～数十万円～) 約10,000品目</p>	<p>遺伝子を増幅する装置、細胞を解析する装置など (数百万円～)</p>	<p>研究者 (顧客) からサンプルを預かり、得られたデータや産物を納品 (数十万～数千万円～)</p>

CDMO：契約ベースでバイオ医薬品などの開発製造を受託するビジネスモデル

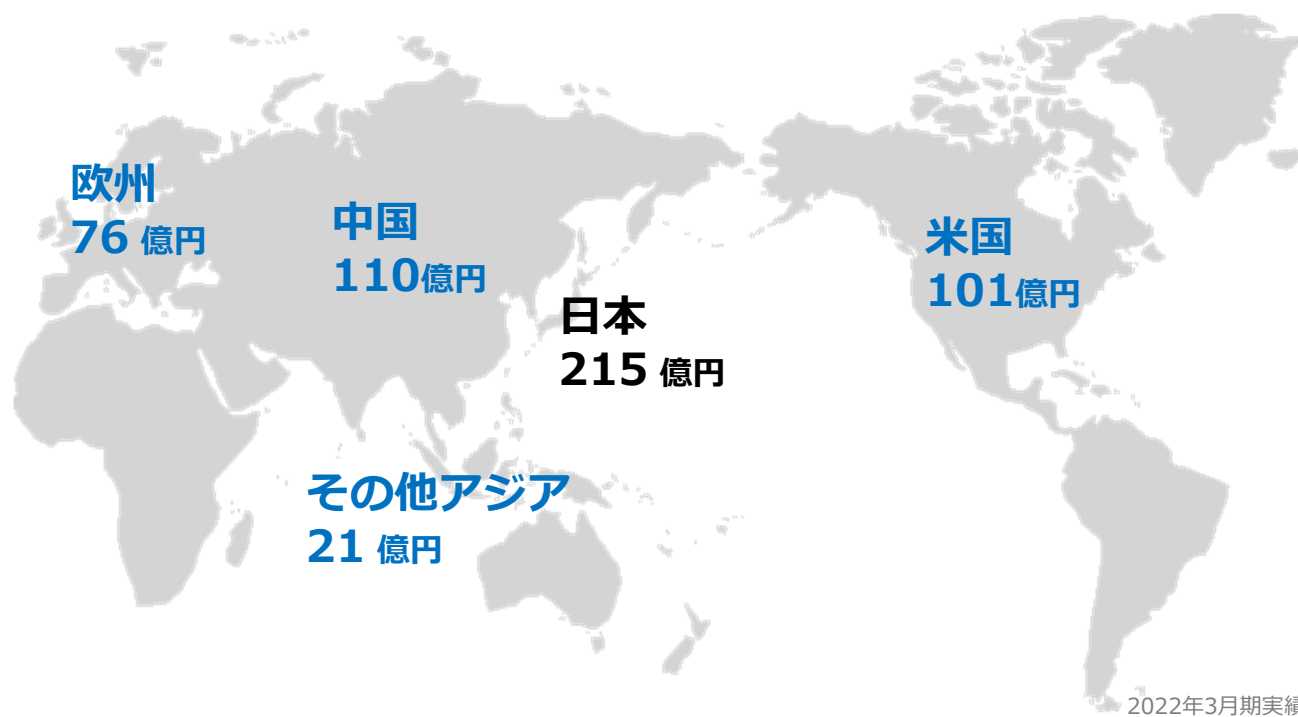
2023年3月期事業戦略 (タカラバイオグループ)

新モダリティを創出する基盤技術の開発により事業展開をさらに加速させる

2023年3月期予想 売上高553億円 営業利益150億円

- 一般研究用試薬の持続的成長を堅持し、新型コロナウイルス検査需要変動による影響を最小化
- CDMO事業の製造体制の拡充・強化と、多様化するモダリティに対応する創薬基盤技術の開発
- 遺伝子医療事業における、新規創薬基盤技術開発の推進
- 効率性向上とリスク低減のバランスを踏まえたグローバルな製造体制の構築

試薬事業の海外展開にも注力しており、
各国のバイオ研究開発状況に合わせたグローバル戦略を遂行



多様な分野にPCR試薬を供給

タカラバイオのPCR試薬は、食品・環境から臨床応用まで種々のウイルス・細菌の検出に用いられている



日本と米国の新施設が稼働開始し、研究開発・製造体制が最適化

**体外診断用医薬品などの
国内新製造施設**

所在地	滋賀県草津市 本社事業所内
床面積	約790 m ²
製造能力	月産800万PCR反応相当分
投資規模	約10億円

- 経済産業省「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」に採択。
- PCR検査試薬等の国内安定供給、サプライチェーン上のリスク低減を実現。



90L 微生物培養槽



自動充填装置

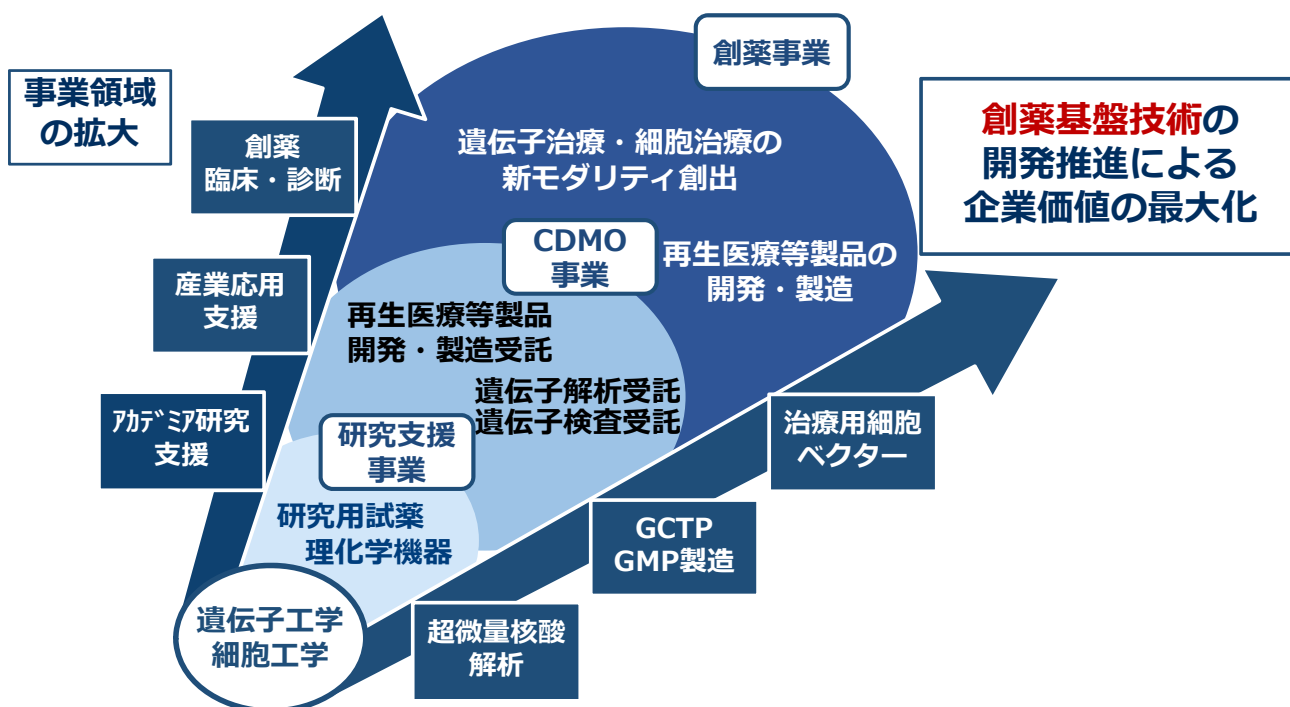
**米国子会社 Takara Bio USA の
新拠点**

所在地	カリフォルニア州サンレホ市 (サンレホ国際空港より車で約10分)
土地面積	約 30,000 m ²
建物面積	約 12,000 m ² (6,000 m ² ×2棟)
投資規模	約100億円

- 次世代シーケンサーによるゲノム解析、シングルセル解析などの先端研究向け製品開発機能をさらに強化・拡充。
- グループの研究開発体制の最適化を推進、さらなる生産性向上を図る。
- 米国内向けPCR酵素などの製造機能を新たに配備。現地需要に応じた機動的な製品供給が可能に。

事業の展開による市場価値の最大化

新モダリティを創出する基盤技術の開発により事業展開をさらに加速させる



本日の内容

1. 宝グループの概要
2. 海外事業について
3. 国内事業について
4. バイオ事業について
5. **サステナビリティについて**
6. 株主還元について

宝グループのサステナビリティ

長期経営構想「TaKaRa Group Challenge for the 100th」

Vision (ありたい姿)

笑顔で繋がる豊かな暮らしを ～Smiles in Life～

「人と人の繋がりと笑顔にあふれた健康的で豊かな日々の暮らしへの貢献」

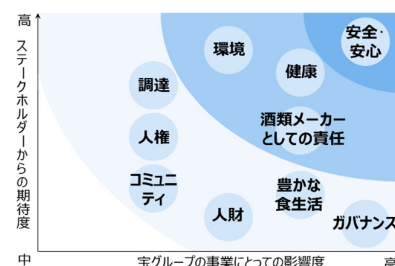
事業活動を通じた社会的価値の創造を将来にわたって実現し続けていくためには、様々な社会課題の解決にこれまで以上に取り組む必要性がある。

2020.5 「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」公表

10の重要課題（マテリアリティ）を選定

サステナビリティ・ポリシーの方針に基づく、具体的な中長期目標を設定。達成時期と目標レベルを定め、より実効性の高い取り組みへ。

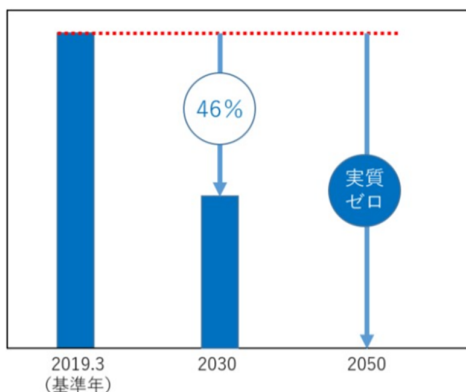
2021.6 「宝グループ・サステナビリティ・ビジョン」公表



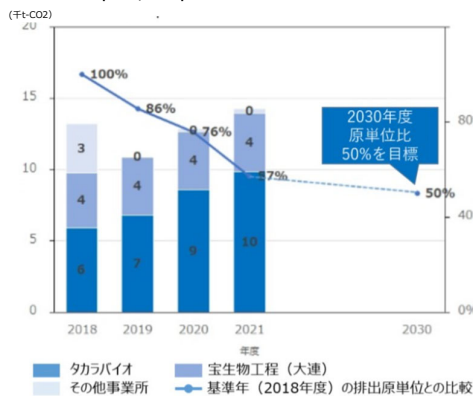
CO2排出量削減目標を設定、達成に向けたロードマップを策定

2030年度	<ul style="list-style-type: none">宝酒造・宝酒造インターナショナルグループの生産拠点におけるCO2排出量を2018年度対比で46%削減タカラバイオグループのCO2排出原単位（売上高当たりのCO2排出量）を2018年度比で50%削減
2050年度	<ul style="list-style-type: none">グループ全体でCO2排出量を実質ゼロ

○宝酒造、宝酒造インターナショナルグループの生産拠点の排出量目標 ※Scope1,Scope2



○タカラバイオグループの排出量目標 (原単位) ※Scope1,Scope2



主な削減施策計画・・・ガスボイラー活用、太陽光パネル採用、CO2フリー電力購入 等

気候変動がグループに与える影響やリスク・機会について、TCFDフレームワークに基づき開示

◇宝ホールディングス

TCFDフレームワークに基づく開示

気候変動による影響やリスク・機会

TCFDフレームワークに基づく開示

TCFDフレームワークに基づく開示

TCFDフレームワークに基づく開示

◇タカラバイオ

TCFDフレームワークに基づく開示

気候変動による影響やリスク・機会

TCFDフレームワークに基づく開示

TCFDフレームワークに基づく開示

TCFDフレームワークに基づく開示

ソフトアルコール飲料を中心に純アルコール量表示を推進



プリン体 0mg
純アルコール量: 20g
(350ml 当たり)

焼酎ハイボール（33アイテム）
に純アルコール量の表示
（2021年11月～）



プリン体 0mg
アルコール分 7%
純アルコール量: 20g
(350ml 当たり)
※1 100ml当たりアルコール量0.5mg

寶「丸おろし」シリーズ（4アイテム）
に純アルコール量の表示
（2022年3月～）

農業問題を解決しようとする産地を応援し、果実の未利用部位を出さない「まるごと製法」でつくった「京檸檬サワー」を販売



耕作放棄地を使ったレモン栽培



売上の一部から苗木購入費用を寄付

ヴィーガン、オーガニックや食物アレルギー対応商品の開発（英国Yutakaブランド）



ヴィーガン対応枝豆餃子



オーガニックこんにゃく麺



グルテンフリー醤油

※宝酒造インターナショナルグループ全体で、ヴィーガン及びオーガニック対応商品を2022年7月時点で1,335アイテム販売中

海外日本食材卸でさまざまな和酒・日本食の文化発信

展示会での日本食文化発信



フードテックス（フランス）



タザキフーズ（イギリス）

日本酒テイastingセミナー・和食の職人養成講座



ミューチャルトレーディング（アメリカ）



ミューチャルトレーディング（アメリカ）

本日の内容

1. 宝グループの概要
2. 海外事業について
3. 国内事業について
4. バイオ事業について
5. サステナビリティについて
- 6. 株主還元について**

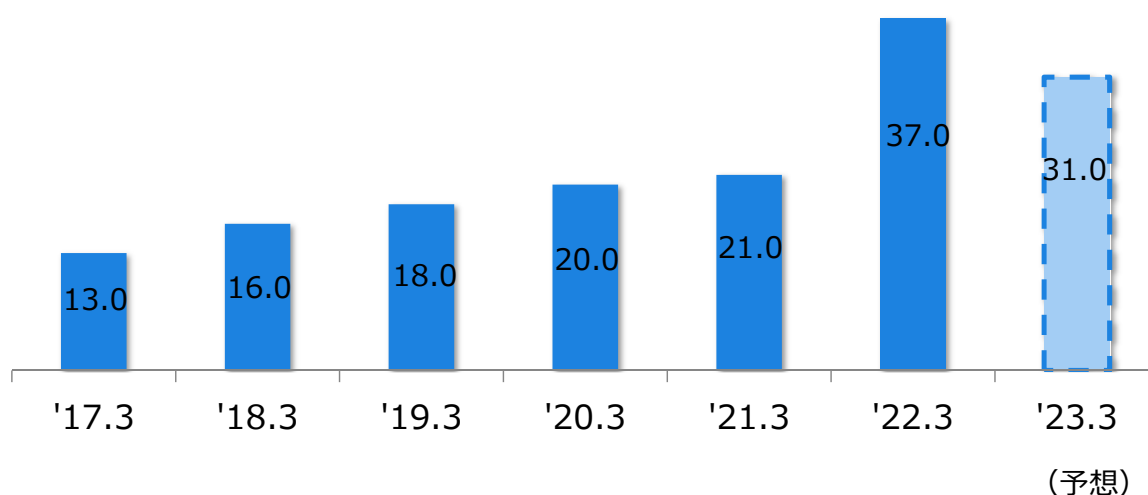
株主還元について

50

◆株主還元方針（宝グループ中期経営計画2022）

- ・持続的な利益成長に合わせて、配当性向で30%台後半となる安定的な配当を継続
- ・機動的な自己株式取得を実施

1株当たり配当金（円）



◆株主優待制度

対象：毎年3月31日現在の株主名簿に記録された、当社株式
1単元（100株）以上を保有されている株主様
発送時期：8月下旬～9月下旬

■酒類または調味料詰め合わせ

- ・1,000株以上 → 3,000円相当の当社グループ商品等
- ・100株以上 → 1,000円相当の当社グループ商品等



1,000株以上
酒類詰め合わせ



1,000株以上
調味料詰め合わせ

※商品は2022年3月期の実施例

■社会貢献活動への寄付

公的信託「タカラハーモニストファンド」
または日本赤十字社への寄付

- ・1,000株以上
→優待品に代えて3,000円を寄付
- ・100株以上
→優待品に代えて1,000円を寄付

「笑顔で繋がる豊かな暮らしを ～Smiles in Life～」

世界の人々に和酒・日本食を通じて豊かな食生活を、さらにバイオ事業により健康的な暮らしに
貢献することで「笑顔で繋がる豊かな暮らしを ～Smiles in Life～」を実現していく

宝ホールディングス株式会社

宝酒造株式会社
宝酒造インターナショナル株式会社

タカラバイオ株式会社

豊かな食生活



健康的な暮らし



笑顔で繋がる豊かな暮らしを
～Smiles in Life～



ご清聴ありがとうございました。

将来見通しに関する注意事項

この資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

＜お問合せ先＞

宝ホールディングス株式会社

財務・IR部

E-Mail ir@takara.co.jp

TEL 075-241-5124